

## 2008年 G8 サミット NGO フォーラム 趣意書

2008年、日本で「主要国首脳会議」(G8サミット)が開かれます。持続可能な社会の実現をめざして環境、平和、人権、世界の貧困問題の解決と開発などの課題にとりくんでいる私たち NGO は、このサミットにむけて、「2008年 G8 サミット NGO フォーラム」を結成します。

私たちがとりくんでいる課題は、その要因も影響も地球規模のものであり、解決のためには地球規模でのとりくみが必要です。G8 諸国は世界の政治・経済におおきな影響力を持っています。地球規模の課題の解決のためには、G8 諸国がサミットで適切な議論をおこない、効果的な対策の実施に向けて合意していくことが不可欠です。

NGO は、地球規模での社会的公正の確立と市民社会の参画をめざし、国境をこえて協力しながら問題の解決にとりくむ中で、政府とはちがった視座から独自の知見を蓄積し、共有してきました。私たちは、その知見と十分な情報に基づいて、政府に対して地球規模の課題の解決に向けた合理的な提言を行うことで、市民社会として必要な責任をはたすために、本フォーラムを結成します。

### 1. 「2008年 G8 サミット NGO フォーラム」の目標

気候変動(いわゆる「地球温暖化」)や生物多様性などの環境問題、途上国の深刻な貧困問題、HIV/AIDS を含む感染症の問題などが、地球社会の持続的な生存と発展をおびやかしています。1990年代以降、これらの地球規模の課題は、G8 サミットの主要な課題の一つとされ、さまざまな合意が結ばれてきました。

中でも、2005年にイギリスで開催されたグレンイーグルズ G8 サミットでは、気候変動問題とアフリカの貧困問題が主要議題となりました。気候変動問題については、途上国も含めた将来の取り組みのための対話枠組みが提案され、2008年の日本 G8 サミットで報告が行われることになっており、日本サミットは重要な交渉の機会となります。いっぽう、途上国の貧困問題についても多くの約束がなされましたが、残念ながら、いずれも問題の解決に十分なものではなかった上、いまだにその実現の見込みが立たない状況にあります。日本でのサミットで、これまでの限界をのりこえた、ほんとうに世界の貧困問題の解決に役立つ政策が合意されることが望まれています。

こうしたことから、本フォーラムは、08年に日本で開催される G8 サミットおよび、2007年ドイツ G8 サミットを含めた事前の閣僚会議などで、地球規模の環境問題、途上国の貧困問題の解決と開発、人権の確立や平和の問題について、各国首脳が真剣に討議し、有効なとりくみを約束するよう、働きかけを行います。

### 2. G8 諸国の果たしうる役割: 私たちの認識

本フォーラムは、G8に関する以下の共有認識に基づいて、G8への働きかけを行います。

- G8 諸国は、その国際的影響力から、世界の貧困・不平等の解決や国際的環境問題について、特別の責任をもっています。世界の人権や平和の問題についても、G8 諸国がはたすべき責任は重大です。
- G8 諸国は、気候変動の防止のための行動や、紛争の国際的要因の除去、地球規模での人権確立への率先した行動、途上国の貧困問題へのとりくみや持続可能な開発の促進などを通じ、国際的な指導力を発揮できるはずで

### 3. 私たちは G8 に何を望むか

- (1) 私たちは第一に、G8 の運営に際して、各国政府に対して、a. サミット・シェルパ(各国首脳に任命された政府代表)による各国の市民社会との協議の場の設定、b. 市民社会とサミット議長との事前協議の場の設定、c. メディアと市民社会がおたがいにアクセスしやすい会場設計など、市民社会に関われた会議運営がなされることを求めます。

- (2) 私たちは、G8 において、貧困と開発、環境、平和、人権などの地球規模の課題を主要議題として討議することを求めます。これらの課題にとりくむことが、世界規模での持続可能な経済と社会を確立することにつながるという認識にたち、G8 が、最大限の緊急性をもって、世界の貧困問題の解決のための国際的な目標である「ミレニアム開発目標」の達成に向けてとりくむよう訴えます。
- (3) 私たちはまた、これらの問題の討議にあたって、過去の誓約の実施状況をモニタリング・評価し、着実な実施の意思の再確認と、目標の達成にむけた具体的な検討を行うことを求めます。さらに、あらたな積極的かつ実質的な方策の検討と合意をめざすことを求めます。
- (4) 私たちは同時に、G8 サミット主催国である日本に対して、短絡的・短期的な国益でなく、長期的かつグローバルな視野をもって、大胆な政策的発想のもとに、G8 プロセスでの政策策定や討議において指導力を発揮することを求めます。

#### 4. 「2008 年 G8 サミット NGO フォーラム」の活動

本フォーラムは、上記の目標を達成するために、以下の活動を行います。

- 世界の市民社会との連携を通じて、貧困・開発、環境、平和、人権問題など地球規模の課題について、何が論点となっているかを明らかにします。
- これに基づき、G8 諸国や世界各国の市民社会と連携して、G8 諸国政府に対して要請、提言を行います。また、日本政府に対しては、サミット議長国という立場をふまえた追加提言を行います。
- サミット開催にさきがけて、貧困・開発、環境、平和、人権問題とそれぞれの政策・構造的背景についての情報の普及につとめます。日本には、G8 議長国としてこれらの問題に対して率先して行動する責任がありますが、そのことについて社会的な合意を作っていくために、メディアへの働きかけを含むパブリック・アドボカシーを行います。
- サミット開催期間中には、開催予定地域の市民社会と連携しつつ、世界の市民社会の受け入れを行います。

#### 5. 「2008 年 G8 サミット NGO フォーラム」の運営に関する原則

本フォーラムは、市民社会のネットワークとして、以下の事項に基づいた運営を行います。

- 十分な公開性と透明性を保障する民主的な運営と意思決定
- 提言の形成など、各種の活動における討議と決定のプロセスの尊重
- 目的に対して合理的かつ有効な、成果重視の活動の追求
- 地球規模の課題に取り組む国際的な市民社会、とくに途上国の市民社会との連携
- 貧困や環境問題など地球規模の問題によって危機にさらされている人々へのアカウンタビリティ(応答責任)の尊重
- 加盟団体、参加者、支援者へのアカウンタビリティの尊重
- 加盟団体や広範な市民社会との合意に基づく、コンプライアンス(法令の遵守)を尊重した活動の実施

本フォーラムは、これらを満たす上で適切な、わかりやすいしくみを作り、フォーラムの運営に当たります。

以上